

大隅農村社会経済史料(IX)：守屋舎人日帳(9)（天保3年7月～12月）

秀村，選三

<https://doi.org/10.15017/4474803>

出版情報：経済學研究. 44 (2/3), pp.169-189, 1979-04-10. 九州大学経済学会
バージョン：
権利関係：



大・隅農村社会経済史料(IX)

——守屋舎人日帳(9)(天保3年7月~12月)——

秀 村 選 三

解 題

今回は前回に引き続いて天保3年(1832)7月より12月までをおさめる。もっとも6月18日より7月8日まで記載されていないので、7月9日よりはじまる。本年は前後の年代に比べると記載洩れの日数が比較的に多い。また11月中旬および閏11月下旬より12月上旬にかけては破損が甚しく、そのため意味が明確に把握出来ない箇所があるのは残念である。

半年間の記事ではあるが、年貢取納に関する記事が比較的多い。前回すでに記載されていた取納方地方検者の郷内への入部に続いて、6月20日以来7月27日まで降雨なく旱魃で用水乏しく、水配りについても記事がある。干損地が出たらしく見掛御免を願い出たが、宮下、後田、前田、新留、野崎村については見掛御免なく、試例をして上見内見を願うに至る。見分、取納等は2手——東3ヶ在(新留、野崎、波見)と西4ヶ在(前田、後田、宮下、富山)——に分れてなされるのが常であるが、5ヶ村の内見のため検者1人の増員を願い出て1手を増すようになった。舎人も地方検者に従って見分に従事しており、此の間の事情は詳しく記述されている。さらに郡奉行の入部、見分、上納、諸庄屋、在段との請取合せ、仕登米の取納、鹿兒島領主の証文請取、未取納に対する催促、上納米の皆済、免本銀上納等の記事が続く、年末に取納皆済届書を出すとともに大皆済延期の訴詔書を出している。

このほか御鳥見の入部、琉人方の夫立、取除模合、御趣法講、高掛式刃御借上銀等の記事もあり、また盗難事件の処置、或は断片的であるが雨乞踊、太鼓踊、御田踊、木綿祝等も録されていて興味深い。

辰七月九日晴天

一、宗門手札改人数見合度段、横目方^ハ被申出候向ニ而、壹刻致出勤候様、月番方^ハ承候得共、些差支之儀有之候故、封印書調、書役山之内与右衛門方に帳面櫃明ヶ方頼越候事。

〔七月十日記載ナシ〕

辰七月十一日晴天

(一) □、野崎村詰地方検者肥後市右衛門殿方に今日^ハ致出勤^(病カ)候処、足□ニ而出勤不相叶候ニ付、昼後可致出勤候間、其段申断被置可給旨、郡見廻矢神善左衛門に申越候事。

〔七月十二日記載ナシ〕

辰七月十三日晴天

(四) 一、爪^ハ壱ツ初而落候。尤なり付候日^ハ三十三日ニ相成候事。

〔七月十四日ヨリ十六日記載ナシ〕

辰七月十七日晴天

一、御地頭飯屋に致出勤候様通達有之、ハツ時分^ハ出勤いたし候、尤出役月番大田次右衛門殿・河俣龍藏殿・日高八郎太殿・拙者、組頭山下彦一殿・柏原伴之進、当番郡見廻郡山八左衛門ニ而候、吟味之次第左之通。

(銀) 一、高掛式刃御貸上^銀良、先月内上納之御願申上候処、御取揚無之、当月三度ニ皆納いたし候様、引付被召渡候ニ付、致催促皆上納不相納候ハ、又々内上納之御願申上筋申談候。

一、諸在諸組御蔵入先月廿日^ハ是迄之旱魃ニ而盛長不

宜、其上平■ニ而定代請状難差上候ニ付、実のり候
上^{何分}触状申上筋、御代官所に御届申上候事。

- 一、日新院に有之候御参銭、六月十二日^(申出力)以後盗取之
段、掛持瑞光寺大質^(申出力)被^(申出力)明日於日新院糺方之筋
申談候。

辰七月十八日晴天

- 一、ハツ時分日新院に致出勤、近方召寄盗之一件致糺
方候得共、何日逢盗候茂不相知候得[○]毛頭手掛不相
知候。出役月番大田次右衛門殿・河俣龍藏殿・市来[○]
^{ニ付成行御披露申上筋致吟味候}
運右衛門殿・拙者、古郷士年寄山之内休之進殿、組
頭山下彦一殿・柏原休之進殿、横目日高新左衛門殿
・日高六太郎殿、地頭横目山下彦太郎殿・切通平太
殿、口事方伊東佳納次殿・宮田十助殿・柏原武平太
殿・日高半右衛門殿・児玉次郎兵衛殿・郡山八左衛
門殿ニ而候、掛持大賢被参候事。

- 一、郡見廻岩城勇八代リ并椅掛峯崎善次良代リ役人柄
しらへ云有之候、月番大田氏・河俣氏・市来氏・拙
者、御地頭横目山下彦太郎殿・切通氏ニ而候事。

辰七月十九日晴天

- 一、五ツ時分過郡見廻矢神善左衛門罷出候ニ付、新留
村詰地方検者肥後市右衛門殿御旅宿に致同道、当年
六月廿日より是迄之早魃ニ而、宮下村・後田村勿論
其外在[○]込も諸作職相病候ニ付、情々水廻おいたし
候得共、用水無之、不及手段、地方検者次書ニ而郡
方に御届申上候、尤今日[○]地方検者衆事と野町に御
用ニ付、被差越候ニ付、中途同道ニ而致帰宅候事。

辰七月廿日晴天

- 一、七ツ時分地方検者旅宿上之藁之権蔵所に差越候、
尤戸守取納賃分剩方之由ニ而、柙方掛役々并諸在庄
屋在役其外罷出居候、暮時分帰宅之事。

辰七月廿一日晴天

- 一、今日[○]矢神善左衛門所に地方検者衆御越之筈ニ
而、七ツ時分野町庄八所迄被参居候段、新留村在役

と申出来ニ付、直ニ庄八所に差越候処、郡山八左衛
門事も参居候、暮時分善左衛門所に同道、今晚五ツ
時分皆々致帰宅候事。

- 一、野崎村・新留村・前田村・後田村・宮下村真式番
草取并赤羽草取今日迄之日限ニ候処、当月廿九日限
延之願申出候事。

- 一、昨^(日カ)初^(瓜)而長西爪取候、大まり付候日^(ママ)と三十五、六
日ニ相成候。能熟居候事。

辰七月廿二日晴天

- 一、前田村新溝に水勢多、新留村新溝に水勢相少候段
申出候ニ付、水^(配)口見分として地方検者衆并郡見廻郡
山八左衛門、用水掛小牧惣右衛門同道ニ而、井手口
に被差越候得共、拙者事と地方検者衆に飯籠差上筈
ニ而^(相頼カ)候、尤掛右同道ニ而被参、暮時分引取候
事。

辰七月廿三日晴天

- 一、今日[○]後田村論地に地方検者衆御軒宿之筈ニ而、
早朝右旅宿に差越、明後廿五日宮下村に差越可申段
申置、直ニ罷帰、宇都宮氏法事に差越候事。

〔七月廿四日記載ナシ〕

辰七月廿五日晴天

- 一、四ツ時分宮下村落水之金右衛門所に差越候、地方
検者肥後市右衛門殿、郡見廻郡山八左衛門同道ニ而
後田村論地[○]に軒宿有之候、尤郡奉行加藤権兵衛殿事、
始良下名村に近々御差入有之筈之由、被承候ニ付、
差入有之ハ直ニ為知候様、下名村庄屋方へ頼越候
様、郡見廻に申達候事。

辰七月廿六日晴天

- 一、串良一之宮に雨乞踊有之由ニ而、為見分検者衆四
ツ時分[○]被差越候。拙者事と旅宿に罷居候事。

- 一、八左衛門事と川北[○]富山村迫水廻と差越、日入
前罷帰候事。

- 一、近々加藤権兵衛殿御廻勤之段、月番同役に問合候。

尤着替取とノ拙宅へ遣候事。

辰七月廿七日晴天

- 一、八左衛門事と宮下村・富山村溝張取差引とノ早天
ノ差越候而暮時分帰宅之事。
- 一、ハツ時分地方検者衆御帰宅之事。
- 一、今晚雨降候。先月廿日ノ三十七日目ニ少ク降候事

辰七月廿八日雨晴天

- 一、拙者事足相病候故、代り合申越置、四ツ時分麓に
致帰宅候。検者衆、八左衛門同道ニ而富山村に転宿
之事。
- 一、宿移掛宮下村干損地之事。

辰七月晦日晴天

- 一、長西爪都而取候。蔭入候ノ百廿七日ニ相成候事。

辰八月朔日晴天

- 一、拙者事足病ニ而御地頭仮屋に出勤不相調、尤加藤
権兵衛殿波見村に御差入之筈ニ而、町立宿に致見舞
候而可然段、月番大田氏に通達有之候得共、是又出
勤不相調候事。

〔八月二日記載ナシ〕

辰八月三日晴天

- 一、早天御地頭役仮屋に致^(出)□会候様、月番に通達有
之、四ツ時分致出勤候処、早魃打続、先達而ノ度々
雨乞^(たし候得)おい^(共)共、又々諸在ノ雨乞之願申出候得
共、手の尽し様無之、明後五日四十九所に御神楽并
日新公に御祈願申上、両所に諸在ノもの共々太鼓
踊、御田踊ヲ為致、所中惣斎、両所に参詣申渡候而
可然申談候。出役月番大田氏・河俣氏・日高氏・拙
者、組頭山下氏・横目安庭権左衛門殿・日高両家、
地頭横目切通氏、当番郡見廻郡山八左衛門ニ而候。
庄屋・在役共罷出候。九ツ時分引取候事。

〔八月四、五、六、七日記載ナシ〕

辰八月八日雨晴天

- 一、早天大野清蔵殿被参、川雑魚上納請負一件ニ付、
御鳥方ノ之廻状被差出候故、掛役ニ申談、何分ニも
返答可致段申置、直ニ御鳥掛組頭津曲次五殿に申越
候処ニ出会有之候ニ付、毎月五百文ツヽニ而請負差
出候而可然申談候。是迄之現上納金ヶ月ニ六百文余
ニ相及候事。
- 一、ハツ時分過右清蔵殿被参候ニ付、藤田清左衛門下
人源四郎に川雑魚上納請負金ヶ月ニ付五百文ツヽニ
而差出度申談候趣致返答候処、其通納得ニ而互ニ証
文取替置候事。
- 一、銭金貫文川雑魚上納請負分之内とノ大野清蔵殿に
相渡、預り書受取置候事。
- 一、七ツ時分大田氏に月番相受取候。尤高崇寺洗方見
分とノ差越候。拙者并横目津曲仲右衛門殿、普請見
廻廻玉次良兵衛、書役与右衛門・与宗太・ふれ清左
衛門ニ而候事。

辰八月九日晴天

- 一、書役寄大窪与宗太、ふれ清左衛門罷出候事。

辰八月十日晴天

- 一、書役寄切通強兵衛、与宗太、ふれ清左衛門罷出候
事。

辰八月十一日晴天

- 一、書役寄与宗太、ふれ金左衛門、清左衛門罷出候事
- 一、御地頭所に式ノ目差上良当月ノ十月迄三ヶ月取除
模合式日寄分之内を以、時々宜便次第差上候而可然
筋申談候事。
- 一、式勿高掛御貨上良内上納之訴詔申上筋申^(談カ)□候事。
- 一、後田村稲村之持太良一件之儀有之候得共、役々受
座有之、吟味不相決候事。
- 一、串良下伊倉水配一件之儀有之候得共、当年に最早
水も入用無之時分ニ相成候ニ付、津出之者共に為致
相談置、来春早々吟味いたし候而可然申談候事。
- 一、山方聊止滞納之もの共に催促申渡候事。

一、出役月番拙者并河俣氏、与頭山下氏、津曲氏、横目津曲^(仲)右衛門殿・^(安庭)權左衛門殿・・日高兩家、地頭横目切通氏・山下氏、郡^(見)廻矢神善左衛門・山之内与右衛門、用水掛小牧惣右衛門、行司遠矢半左衛門ニ而候事。

一、郡奉行^(加)藤権兵衛殿、書^(役)伊地知喜右衛門殿新留村尾之下に御差入有之、地頭飯屋^(門)郡見廻、用水掛、拙者見舞候事。

一、右差入ニ付、同役中差^(門)ホニ而、与頭柏原伴之進に代勤相願候。尤郡見廻郡山八左衛門^(門)出勤之事。

辰八月十二日晴天

一、書役寄強兵衛、ふれ清左衛門罷出候事。

辰八月十三日晴天

一、書役寄強兵衛、ふれ金左衛門罷出候事。

辰八月十四日雨晴天

一、書役寄強兵衛、ふれ金左衛門罷出候。尤岩城勇八跡役郡見廻山之内与右衛門御受御礼とノ致出府候ニ付、諸所に届物仕出方とノ今朝も書役、ふれ罷出候事。

一、浦之新右衛門事、御裁許有之、親類ノ召列早ニ罷出届申出候様被仰渡候ニ付、早ニ致出立、其届申出候様可申達旨、浦役人^(事方)に申渡候。

辰八月十五日晴天

一、書役寄強兵衛、ふれ武兵衛罷出候事。

一、波見浦獵場方出入算用とノ取払津曲休次郎、守屋東、先取払日高直之丞罷出候。且拙者方当辰年高掛式分良休次郎に直ニ相渡候。左候而東ノ所鎖お代返分相受取候事。

辰八月十六日晴天

一、書役寄強兵衛、ふれ清左衛門罷出候事。

辰八月十七日雨晴天

一、書役不罷出候。尤ふれ金左衛門罷出候事。

辰八月十八日雨晴天

一、書役寄強兵衛、ふれ清左衛門罷出候事。

一、野廻柏原善右衛門代り并竹木見廻日高休八代り役人柄しらへ方いたし候。今朝拙者宅へ出役。郷士年寄河俣氏、市来氏、日高氏、御地頭横目切通平太殿、山下彦太郎殿ニ而候。尤郷士年寄大田次右衛門殿事ニ家内病人ニ而相類段承候ニ付、致調方候上、印形取ニ遣候事。

一、琉人方夫立請負ニ差出度段、人馬方、郡方書役衆に得差図取計候様、申達候而可然申談、直ニ当番郡見廻矢神善左衛門招呼^(本)立夫老人老貫文^(門)負差出候而可然候間、明日郡見廻之内に致出府候様申^(門)事。

辰八月十九日雨天

一、書役寄強兵衛、与宗太、ふれ金左衛門罷出候事。

一、昨日申達置候琉人方夫立一件ニ付、郡見廻郡山八左衛門致出府候。右便ノ野廻柏原善右衛門代り、竹木見廻日高休八代りしらへ書并後田村島見掛高弘帳、免帳写、差上候。

一、先達而浦之新右衛門事、親類老兩人相付列越候様、御裁許方ノ被仰渡候ニ付、早ニ為致出立、其届申出候様、浦役人^(直)に^(出府方)申渡置候得共、今迄為何儀と不申出候ニ付、糺方申渡候事。

辰八月二十日雨天

一、書役寄強兵衛、与宗太、ふれ清左衛門罷出候事。

一、浦之新右衛門事、病氣^(二)而是迄出府相調不申、明日柏原之恒右衛門^(出府方)に相付^(直)仕儀、相違無御座段、申上候様、浦役人^(出府方)に^(直)申付^(直)仲吉^(直)に申出趣承届候事。

辰八月廿一日雨晴天

一、^(書役)寄与宗太、ふれ金左衛門罷出候事。

大隅農村社会経済史料 (IX)

一、琉人方夫立ニ付、請負又ニ相対頼本一切為仕申間
(認力)
敷旨、相□致印形、郡見廻矢神善左衛門ニ相渡候。
拙者并横目日高新左衛門殿、日高六太郎殿、郡見廻
右善左衛門、郡山八左衛門連名ニ而候事。

辰八月^(廿二日)□晴天

一、書役寄与宗太、ふれ清左衛門罷出候事。
一、浦之新右衛門御裁許御用本立之届不申出候ニ付、
浦役人御用申渡置候処、罷出候故、致出立候哉之旨
相糺候処、未出立不仕、明日無相違為仕可申段□出
候故、明日相違有之候ハ、其方ニ先達□成
行可申上候ニ付、其通相心得候様申達置候事。

辰八月廿三日晴天

一、書役寄与宗太、ふれ金左衛門罷出相動候事。
一、浦之新右衛門事、今日出府之届十五郎ノ申出候事
一、今晚御使有之、始良ニ次渡候。尤書役寄強兵衛召
呼候。

辰八月廿四日晴天

一、書役寄与宗太、強兵衛、ふれ清左衛門罷出候事。
一、諸在定代受状延之願申出置候処、最早八月も無余
日相成候ニ付、今日御地頭仮屋へ差寄致吟味候処、
明日郡見廻ノ内之浦詰郡奉行加藤権兵衛殿ニ得差図
候筋可然申談候ニ付、矢神善左衛門ニ差越候様申達
候。出役拙者并大田氏、市来氏、河俣氏、日高氏、
郡見廻右善左衛門并用水掛小牧恕右衛門ニ而候。諸
在庄屋、在役共罷出候事。
一、串良盜ニ付、質屋改頼来居候ニ付、今晚野町伊三
兵衛所ニ差入致改方候。拙者并横目津曲氏、安庭、
日高新左衛門殿、日高六太郎殿ニ而候事。

辰八月廿五日晴天

一、所取除模合とノ御地頭仮屋へ致出動候。邊田之大
右エ門鬨当リニ而候。波見村之早助ノ受取候□
□御地頭所ニ差上艮之内とノ今日寄分之内□取分
(取)
□私守屋東ニ相渡置候。尤出役拙者并古郷士年寄

山之内休之進殿、組頭津曲次五殿、横目安庭権左衛
門殿、日高新左衛門殿、日高六太郎殿、地頭横目切
通平太殿、山下彦太郎殿ニ而候。町庄八并權右衛門
・長兵衛罷出候事。

一、宍朱老切分百拾老文算用書相添、高掛式々艮入め
として取私守屋東ニ地頭仮屋ニ而直ニ相渡候事。

一、書役大窪与宗太、ふれ金左衛門・清左衛門罷出
候。尤書役与宗太事々今日山之内与右衛門跡書役申
付候事。

辰八月廿六日晴天

(書)
一、□役与宗太、ふれ清左衛門罷出相動候事。

辰八月廿七日晴天

一、書役与宗太□□役強兵衛、ふれ金左衛門
ニ而候事。
一、浦之彦兵衛□□内表ニ差越由ニ而、三枚帆
往来□受方として罷出候ニ付、認相渡候事。

辰八月廿八日晴天

一、早天書役与宗太召呼、日高氏ノ月番次渡候事。
一、取納方地方検者肥後市右衛門殿、志和屋八郎右衛
門殿、今日富山村ニ差入有之候段、申出候向ニ而、
致出動候様、拙者并市来氏ノ月番日高氏ノ被申越候
事。

[九月一日記載ナシ]

辰九月二日晴天

一、前田村之勘助所ニ検者肥後市右衛門殿、与七所ニ
志和屋八郎右衛門殿、今日後田村ノ差入有之、ハッ
時分致見舞候処、郷士年寄市来運右衛門殿、郡見廻
矢神善左衛門被詰居候。左候而用水掛小牧恕右衛門
事も參候ニ付、暮時分迄相咄、市来氏并小牧氏同道
ニ而罷帰候事。

[九月三、四、五、六、七日記載ナシ]

辰九月八日雨天

一、野崎村詰地方検者肥後市右衛門殿、志和屋八郎右衛門殿に差越候、尤市来氏并郡見廻矢神善左衛門詰居候。郡見廻郡山八左衛門并用水掛小牧惣右衛門事も参居候。明日より新留村尾之下に御転宿之筈ニ而、^(受方)拙者□合相勤筋申談置候。且暮時分惣右衛門同道ニ而罷帰候事。

〔九月九日記載ナシ〕

辰九月十日雨天

一、九ツ時分月番同役日高氏より出会之通達有之、差越候処、宮下村・後田村・前田村・新留村・野崎村干損地見掛御免無之、右ニ付、上見之儀を尽吟味、来月十五日限願可申出旨、八月御廻文を以被仰渡置候ニ付而、早速試例いたし願不申上候而、日限後ニ相成儀案中之事候間、拙者より地方検者衆に差越候而取納方掛役へ申談、取計候而可然申談候。尤宮下村・後田村之儀を不及試例と致吟味候。出役大田氏、拙者、月番郡見廻山之内与右衛門ニ而候事。

一、地方検者衆事ハ新留村旅宿ニ而候処、宮下村に被差越候段承付、直ニ彼方に向□□弓場之善右衛門所ニ而肥後市右衛門殿、志和屋八郎右衛門殿、市来運右衛門殿、郡見廻矢神善左衛門に逢取致吟味候処、宮下村・後田村之儀ハ不及試例、前田村・新留村・野崎村之儀を試例いたし願可申出筋申談、直ニ高究相調差出候様申付候、尤明日より新留村打込見分ニ而、明後日より手分之筋申談、蒔見并筆算本式手分、月番日高氏に問合いたし候。左候而検者衆兩人、拙者上之藁之権蔵召列帰候、□□事ハ前田村より相別れ候。暮辺ニ相成候事。

辰九月十一日雨天大風洪水

一、拙者事足病強相□^(成方)、今日出勤不相調候ニ付、外方出勤之手当月番同役衆に頼越候事。

辰九月十二日晴天

一、^(地方)□□検者肥後市右衛門殿旅宿上之藁之権蔵所に致

出会候様、市来氏より承、四ツ過時分差越候処ニ、昨日大風洪水ニ而田方試例不相調、右ニ付今日より取付候而、来月十五日限之不逢間候故、上見内見之願書相認、明朝仕立置、明日より試例いたし、御定代有之村より御断申上外無之旨吟味いたし、願書相認候。左候而見掛御免之村より上見内見に取込可申哉之旨、調書相認候。明日上之藁之源太郎飛脚として鹿府詰庄屋図師直八方へ向遣答候事。

一、右出役地方検者肥後市右衛門殿、志和屋八郎右衛門殿、郷士年寄大田次右衛門殿、市来運右衛門殿、拙者、郡見廻郡山八左衛門ニ而候、尤郷士年寄日高氏并郡見廻矢神氏、山之内氏事ハ差支候事。

〔九月十三日～廿五日記載ナシ〕

辰九月廿六日晴天

一、今日四ツ時分より前田村内見に取付、水洗之辺拾五坪致見分候処、式拾七高掛ニ而拾四落ニ而拾七八多候。尤切例式坪いたし候。出役地方検者衆志和屋八郎右衛門殿、拙者、郡見廻郡山八左衛門、蒔見吉川孫太郎、四元勘太郎、筆算野村次郎助、谷口権之進、庄屋図師直八罷出相勤候事。

一、祭礼残之由ニ而、宿主六兵衛嫁より焼酎吸物一ツ差出候ニ付、不致受用段申達候得共、押而致受用具候様申ニ付、今晚より致受用候得共、明晩より一切受用不致段申達、猪口三ツ并吸物受候事。

辰九月廿七日晴天

一、五ツ時分より暮時分迄、前田村内見いたし候処、寺崎より沖之藁之前迄四拾九坪相済候、式拾八高掛七ツ落掛ニ而候。尤切例願老度いたし候、出役昨日中断之事。

一、式手ニ而四千石程致内見候得、来月□□相掛候而ハ不相済候程合と致吟味候ニ付、日限延之願として、今日野崎村庄屋上田直次郎より致出府候。尤願通延不相済候ハ、三手ニ内見被仰付、地方検者被差遣可給旨、願申出候様申付候、且願書之儀を、市来氏、拙者、郡見廻郡山八左衛門、矢神善左衛門連名

ニ而検者宛書いたし候。地方検者より別紙被相添差遣候事。

辰九月廿八日晴天

一、宮下村境より後園之後迄四拾六坪致見分候。尤切例本いたし候。出役昨日同断之事。

辰九月廿九日曇雨天

一、□通境に差越、式三坪致見分候処、雨天ニ相成、取止候。尤出役昨日同断之事。
一、日高六太郎殿所いせとの被致病死候段申来候ニ付、検者衆に頼置、四ツ過罷帰候事。

辰九月晦日晴天

一、いせとの葬礼ニ而、今日前田^村に不致出勤候事。

辰十月朔日晴天

一、今朝迄日高六太郎殿所^{○差越候上}に○前田村に致出勤筈申合置候処、遅方ニ相成候ニ付、明朝より致出勤可申段、前田村川崎詰地方検者衆に図師直八を以申越置候事。

辰十月二日曇晴天

一、志加天より加世田迄五拾式三坪致見分候。尤切例両度いたし候。出役志和屋八郎右衛門殿并拙者、郡山八左衛門、蒔見吉川孫太郎、四元勘太郎、筆算中村次郎助、谷口権之丞、庄屋図師直八ニ而候事。

辰十月三日曇晴天

一、馬庭境より川崎之前之辺五拾四坪致見分候。切例不致候。尤出役昨日同断之事。

辰十月四日晴天

一、川崎之前より後藤之前之辺五拾坪計致見分候。切例老度ニ而候。出役同断之事。
一、二日之晩より夜半過より麓に罷帰、翌三日早朝出勤いたし候。左候而三日之晩より暮過時分より日高直之丞所

に差越、彼所より致帰宅、早朝前田村に致出勤候事。

一、昨三日郡山八左衛門事より後田村論地詰地方検者肥後市右衛門殿方に差越候ニ付、内見に不致出勤候。米割之間合有之候得共、今日と不相調段承候事。

辰十月五日晴天

一、宮下村境、冲の方六拾四坪致見分候。出役昨日同断ニ而候、尤拙者事より日入前より野方引取、日高六太郎殿所に毫刻立寄、麓に罷帰候事。
一、新留村上之藁詰地方検者肥後市右衛門殿御旅宿に致出会候様、同役市来氏より問合有之、今晚五ツ時分致出勤候処、五ヶ在内見ニ付而て、当月中ニと不相済候ニ付、今老人検者衆申受、一手相重候而て如何可有之哉之旨、相談有之候ニ付、右之通相決、書物相認、明日野崎村庄屋為致出府申談候。尤出役肥後市右衛門殿、市来氏、拙者、郡見廻矢神善左衛門并郡山八左衛門ニ而候。且市来氏其外同道ニ而麓に罷帰候事。

辰十月六日晴天

一、後藤之前、冲より後田村境之辺四拾八坪致見分候。
(麓より) 早朝前田村に差入候、尤昨日同断出役之事。
一、郡山八左衛門事より旅宿に九ツ時分より罷帰、米割為致候得共、前田村之分と不相済段、承届候事。

辰十月七日雨晴天

一、福留之後より川崎之辺七拾四坪致見分候、今日迄野方惣仕舞ニ而候。尤出役同断之事。

辰十月八日晴天

一、見分落五坪有之、蒔見吉川孫太郎、四元勘太郎、掛名主六兵衛、鉄十境立本差遣、為致見分候。尤見分落苧四坪有之段、庄屋并名主六兵衛より申出、惣苧無相違ニ付而て、取入候而可然申談、取入候、出役昨日同断之事。
一、御検者旅宿市太郎所ニ而早天より本初并当粗算用いたし候。且落坪より取入候。検者衆、拙者、郡見廻、

筆算、庄屋其外在之もの共ニ而候。尤在役共々早天
 〆高究いたし候。坪当之儀々昨夜いたし候段承候
 事。

一、今晚四ツ拙者事々麓に罷帰候事。

辰十月九日曇雨天

一早天前田村に致出勤候処、筆算 谷口権之進 宅人參
 居、野村次郎助事ハ御番ニ而不罷出段、庄屋方ハ承
 届候ニ付、御番繰替、早々罷出候様、被成御手当可
 給旨、月番同役方へ致問合候処、罷出候ニ付、檢者
 旅宿ニ而今晚五ツ時分迄代□いたし候得共、不相濟
 候ニ付、兩日中代廻相仕舞、宮下村に致持參候様申
 付候、出役檢者衆、拙者、筆算兩人、庄屋、在役共
 ニ而候。尤郡見廻郡山八左衛門事々串良野町に御仕
 登俵割方とノ差越、夜入候而罷帰候事。

一、地方檢者内田仲左衛門殿、野崎村内見に鹿府ハ差
 入之由ニ而、野崎村之金助相付、ハツ時分檢者旅宿
 并一刻被立寄候事。

一、拙者丞野村次郎助、谷口権之丞同道ニ而、今晚四
 ツ時分麓に罷帰候事。

辰十月十日晴天

一、五ツ時分前田村に差越、直ニ落物本入付、檢者
 衆、郡見廻同道ニ而宮下村に差入候処、檢者衆御旅
 宿新川原田門伊右衛門所、拙者旅宿川原田門三所ニ
 而候。尤蒔見、筆算本相待居候処、追々罷出候得
 共、蒔見日高金八七ツ時分罷出候ニ付、直ニ下新門
 野入ニ而、福留門・福岡門割合、四坪字迄十坪致見
 分候。且拾九高掛九落ニ而候。出役地方檢者志和屋
 八郎右衛門殿、拙者、郡見廻郡山八左衛門、蒔見四
 元勘太郎、日高金八、筆算野村次郎助、谷口権之進
 ニ而候。庄屋吉田藤兵衛、掛名主平藏、基右衛門、
 境立新川原田門小助、道永門之覺左衛門、福元門源
 右衛門、水落蘭門次郎右衛門、跡付金次郎、伊右衛
 門。

辰十月十一日晴天

一、樋之口門・内之倉門角田字日出野入、地藏免・川
 原田門迄八拾八坪致見分候。檢者衆、拙者、八左衛
 門、蒔見勘太郎、金八、筆算次郎助、権之進、庄屋
 吉田藤兵衛ニ而候。掛名主勘右衛門、善右衛門、境
 立覺左衛門、次郎右衛門、上之蘭門金左衛門、嶋廻
 之勘兵衛、中嶋之小八代り合相動候。跡付樋之口門
 金次郎、福元門^(重書)相動候事。

辰十月十二日晴天

一日出ハ堀田、吉満門野入ニ而、暮時分迫田、加治屋
 門迄九拾七坪致見分候。尤出役八郎右衛門殿、拙者、
 八左衛門、勘太郎、金八、筆算次郎助、権之進、竿
 次渡庄屋吉田藤兵衛ニ而候。掛名主基右衛門、寄宇
 右衛門、名寄□渡伊右衛門、跡付太郎、境立嶋廻門
 善助、末次門金十、加治屋門新右衛門、上田門庄兵
 衛罷出相動候事。

辰十月十三日晴天

一、川北朝之間四坪見分、晩方八坪致見分候。出役檢
 者衆、拙者、蒔見、筆算、昨日同断、竿次渡并名寄
 渡伊右衛門、跡付太郎、掛名主平藏、宇右衛門、境
 立霧蘭門次郎右衛門、上之蘭門金左衛門、福元門源
 右衛門、福之江門五郎ニ而候事。

一、郡見廻郡山八左衛門事、昨日晩方ハ始良詰毛上御
 見分郡奉行野村源五殿に見舞として差越候処、今日
 迄相濟、^(重書)ニ付、致一宿居、今日後田村に御差入
 有之、相付居、郷土年寄之儀々、市来運右衛門殿被
 相付候段、今朝我々見分先に申来候ニ付、直ニ見分
 相休ミ、御檢者衆、拙者同道ニ而、平藏召列、後田
 村御見分先に見舞候処ニ、今日ハ前田村迄御見分
 之由候ニ付、宮下村立宿迄相付居、暇いたし又々内見
 方見分いたし候事。

一、切通強兵衛、郡見廻代とノ七ツ時分罷出候事。

一、今晚ハ拙者并強兵衛、次郎助同道ニ而麓に罷帰候
 事。

辰十月十四日晴天

一、拙者事不快ニ有之、宮下村に出勤不相調候ニ付、致出勤候方ニ而御見分被成下度段、郡見廻代強兵衛を以検者衆に頼越候事。

一、晩方ニ相成候而も不相替、而三日之内ニ出勤相調丈無覺束存ニ付、代り合之手当月番方に申越候。

一、検者衆并強兵衛、蒔見、筆算昨日同断、竿次渡庄屋、掛名主善右衛門、平蔵、名寄渡宇助、跡付太郎、境立本村門金太、新川原田門小助、上田門庄兵衛、福岡門長助ニ而、内見方見分之由承候事。

〔十月十五日～廿一日記載ナシ〕

辰十月廿二日晴天

一、御鳥見上野八太郎殿、昨日野町伊三兵衛所に御差入有之候得共、拙者事病氣之故、見舞不相調候処、今日も少々快候ニ付、九ツ時分日高六太郎殿所に行、彼処に直ニ壹刻見舞、掛御目候。野廻り并綱差参居候。尤日高氏并親類中ニも墓参とノ米山寺之上に被差越候ニ付、八ツ時分野町に直ニ差越候事。

〔十月廿三日記載ナシ〕

辰十月廿四日曇晴天

一、七ツ半時分前田村庄屋図師直八罷出、郡奉行野村源五殿に名主諸右衛門を以□差出申候処、早々野取帳差出候様被仰付、直ニ宮下村詰御検者衆方に差越、申請、差出申候処、未御印形本無御座候ニ付、申下之願申出候処、印判申受罷出候様被仰付候向申出候故、拙者印判右庄屋に相渡候事。

辰十月廿五日晴天

一、五ツ過時分郡見廻代切通強兵衛同道ニ而、宮下村に差越候処、御検者志和屋八郎右衛門殿事ハ今早朝中戻有之、諸事取計相頼段被申置候趣、宿亭主に申出趣承届候。書付ニも右之趣有之候事。

一、八ツ時分前田村・後田村・富山村に役共相揃候ニ付、請取合いたし候処、富山村追少々入米有之、米員数相立申出程無之故、□成行ニ而届出相認候。尤拙者并強兵衛ニ而候。前田村名主代惣右衛門、後

田村名主太郎、富山村名主覚兵衛罷出候。宮下村之儀も惣上見ニ而未請取合不致候得共、当村に詰居候故、名主善右衛門罷出候事。

一、今日請取合届出之儀ニ付、相談書東取納方に遣候事。

辰十月廿六日雨晴天

一、東取納方に昨日之返答有之候ニ付、昨日認置候届書今日仕出候。尤当村名主甚太郎相動候事。

一、東取納方に内見届之儀、相談書被遣候得共、爰元之儀、未給地領主証文不相揃候ニ付、成行致返答候事。

一、川上林兵衛殿領分、当老ヶ年高須に為致取納呉候様、先達而被頼越候向相達候得共、拙者覺無之候故、同役衆、郡見廻杯に尋方之間合申越候事。

一、難破船其外出火本有之、御奉公人衆近辺に御詰居之節も、郷士年寄に駈付、諸事差引可仕段も先年より被仰渡置候得共、此節又々同役中も勿論、役々申談置候。届書柏原詰御代官伊地知八郎左衛門殿可申出向、同役日高八郎太殿に相談書承置候事。

辰十月廿七日晴天

一、名主宇右衛門相動候ニ付、八ツ時分召列、拙者并強兵衛同道ニ而善右衛門所に牛見とノ差越候事。

一、昨日問合置候川上林兵衛殿領分取納一件承届候覺無之段、日高氏に返答有之候。

一、七ツ時分拙者并強兵衛同道ニ而麓に罷帰候事。

一、今晚も壹刻柏原氏に請賄とノ差越候事。

辰十月廿八日晴天

一、強兵衛事、今日に代り合候ニ付、用水掛郡見廻加役小牧惣右衛門同道ニ而、四ツ時分宮下村に差越候事。

一、郡奉行加藤権兵衛殿宮下村上見御再見とノ八ツ時分御差入有之候。尤蔵方目付川上平左衛門殿、書役土橋市左衛門殿、蒔見指宿郷士古川藤五左衛門、蒲生郷士山本正九郎、筆算大村郷士有馬八郎兵衛ニ而

候。且地方検者志和屋八郎右衛門殿并宮下村庄屋、
名主平藏鹿府と相付罷帰候。今晚ニ相掛押札相済候
ニ付、明日より御見分之手当いたし候。左候而月番
郷士年寄衆其外見舞有之候事。

辰十月廿九日晴天

一、川北御見分四ツ時分と七ツ過時分迄、八拾五坪相
済候。郡奉行加藤権兵衛殿、蔵方目付川上平左衛門
殿、書役土橋市左衛門殿、蒔見古川藤五左衛門殿、
山本正九郎、筆算有馬八郎兵衛、其外検者、所役々
ニ而候事。

一、内見之届、郡方并毛上御見分郡奉行野村源五殿に
昨日申出候。拙者并強兵衛連名ニ而候処、源五殿と
地方検者名前不相見段、御内沙汰ニ而今日又々検者
衆と被申出候。

辰十一月朔日晴天

一、九ツ時分と川北^(七カ)御見分相済、川南六拾八坪御
見分有之候。尤出役昨日同断之事。

辰十一月二日晴天

一、五ツ過時分と川南百三拾坪程御見分、暮時分迄野
方惣仕舞ニ而候。代廻本夜半過迄相済候。尤出役
昨日同断ニ而候。且七ツ過と柏原詰御代官伊地知八
郎左衛門殿、権兵衛殿御旅宿ニ而御用談之儀ニ付被
参、今晚五ツ時分柏原之様御帰有之候、外ニ御老人
御同道之事。

辰十一月三日晴天

一、宮下村御再見方諸首尾合九ツ時分迄相済、直ニ新
留村に転宿有之候。御奉行加藤権兵衛殿、御蔵^(方目)
付川上平左衛門殿、書役土橋市左衛門殿、筆算大村
有馬八郎兵衛、蒔見指宿古川藤五左衛門、蒲生郷士
山本正九郎ニ而候。拙者并小牧恕右衛門相付差越候
処、今日と返方ニも相成、少々御不快之方も有之、
御見分無之候。然処郷士年寄市来運右衛門殿、郡見
廻矢神善左衛門被参候ニ付、明日と右兩人被揃動筋^(カ)

申談候。御検者肥後市右衛門殿ニ而候。尤宿々致見
舞、夜入候而麓に罷帰候。市来氏其外同道之事。

辰十一月四日曇晴天

一、四ツ時分宮下村に差入、御検者志和屋八郎右衛門
殿に見舞いたし候処、郡見廻郡山八左衛門今朝と参
居候ニ付、同道ニ而八ツ時分迄富山村に致転宿候
事。

一、御検者衆事ハ今晚申良上小原詰郡奉行鎌田嘉吉殿
に見舞として被差越、今晚帰宅無之事。

辰十一月五日曇雨天

一、四ツ時分御検者衆申良と御帰有之候事。

一、諸在庄屋、在役罷出、請取^合いたし候得共、高須
御蔵取納無之由ニ而、請取證計ニ而候ニ付、明日在
役之内高須に差遣、何様之訳ニ而取納相調不申哉之
旨、確ニ承届、其段申出候様、取計候而可然申談
候。出役検者衆、拙者、八左衛門ニ而候事。

辰十一月六日晴天

一、昨日請取之届成行を以郡方に申出候。検者衆、拙
者、郡見廻連名ニ而候。尤^(カ)と取納有之段、高須下
代衆^(カ)問合有之候段、庄屋方^(カ)申出趣、承届候事。
一、串良境と^(カ)立^(カ)過迄、溝下地面見分いたし
候。八郎右衛門殿、拙^(者カ)、八左衛門ニ而候。庄屋并
名主市郎其外召^(列カ)事。

辰十一月七日曇雨天

一、始良境と相^(始カ)溝^(カ)門、今日迄都而相済候。出
役^(昨日カ)同断。名主覚兵衛其^(外)候事。

一、柵方掛郷士年寄河俣龍蔵殿、柵格掛成合城之助今
日と当村柵見掛と差入之由ニ而、今晚八郎右衛門
殿旅宿に被参候事。

辰十一月八日晴天

一、溝下見掛算用いたし、地方検者肥後市右衛門方に
帳面差遣候。尤市右衛門殿見分之賦候処、八郎右衛

門殿に被相頼候ニ付、右之通取計候。八郎右衛門殿、拙者、八左衛門ニ而候事。

辰十一月九日曇雨天

一、八左衛門事ハ柏原□蔵に御仕登米取納ニ付、未明より差越候。尤御検者衆事モ九ツ時分私用之由ニ而、高須^(御感カ)□へ被差越候事。

一、七ツ時分龍蔵殿、拙者、城之助事、新助所ハ招ニ付差越候、永井幽謙参居候、尤河俣氏并城之助事ハ暮時分麓之様帰宅有之候。且拙者事ハ夜入候而宮下村に差越候。幽謙同道之事。

辰十一月十日晴天

一、今朝宮下村ハ直ニ麓之様罷帰候事。

一、明十一日日高六太郎所法事ニ付、九ツ時分ハ差越、夜入候而罷帰候事。

辰十一月十一日雨晴天

一、四ツ^{(時)(カカ)(日)}分□□高六太郎所に差越、夜入候而帰候。

辰十一月十二日晴天

一、^(今)□日富山村に差越管之□□こもり内之祭ニ而頼越候事。

辰十一月十三日晴天

一、今日冬こもり祭首尾能□人無之候事。

一、夜半過時分、月番郷士年寄大田次右衛門殿ハ只今^(致)夜中相立候もの有之、野町之もの共□不審ニ相考、何方之ものニ而候哉と相尋候処、大始良柳町之ものニ而、同所居住^(ママ)勤所と申もの所に今日日雇ニ差越居候処、夜入候而年式拾四五之□□^(男カ)包者ツ致持参、高山野町迄駄賃相頼度申ニ付、受合罷出候処、旅人問屋に一刻差越、駄賃分致借用可参候ニ付、相待居候様承、先刻ハ相待居候得共、不参段承、知人々無之哉と相尋候処、明膳□居之段申ニ付、彼所に列越、筵包モ何品之由承居候哉之旨相尋

候処、すおふ之由承居候段致返答候ニ付、相改候処、刀大小七本ひと包ニ有之、駄賃之ものも大ニ驚、盗品紛敷見受、年行司に□披露申出候ニ付、致吟味、直ニ諸所辻ニ□に人数差遣候。年行司^(承)□候。月番□組頭柏原伴之進、津曲□五御目安^(次)□日高新左衛門、地頭横目切通□ニ而□右出□野町会所輕次□□大始良野里村上村八太郎駄賃とノ罷出候成行相頼候処年行□□無之候故、容鉢并諸所道具、着類本相□見分いたし、直ニ横目安庭権左衛門殿事ハ柏原詰締方横目衆に被差越候。跡役々之儀モ会所に相詰、尋方之吟味いたし方々差遣□事。

一、容鉢承届候次第、御尋もの庄五郎に似寄候ものニ而□庄五郎事も野町に参居候ものニ而、段々相究□もの□有之候ニ付、右様之所々入念相改候得共、不尋当候事。

辰十一月十四日晴天

一、九ツ□安庭権左衛門殿被罷帰候。無間も締方横目坂元次郎右衛門殿、町仁左衛門殿所、河野金太郎殿、町利八所に差入有之、役々同道ニ而致見舞、成行申出、会所に帰候。尤容鉢書を以近郷問合いたし候。□始良江□之八太郎受取□て親類のもの共□遣度段、申越候事。

一、尋方差越□面々□□もの不見当段、銘々申□候事。

一、諸所渡口其外辻々又々川之近辺に又々今晚手配いたし、人数差遣候事。

一、吉□ニ吉川□に町同心相付、柳町に尋方として□□当晚□居住勤助と□相付罷出候。

□、□事、度々庄五郎に引合候儀共有之、柳町居位勤助ハ申出候趣ニ付、相逃し候不審ニ而□^(致カ)留、地頭飯屋に□格護候事。

辰十一月十五日晴天

一、与三次□札方候処、柳之辺ニ而庄五郎に組合居候

儀、相違無之、右ニ付此節逢取相違シ候儀、せり□
(候得共カ) 糺方いたし□(暇カ) 不相誤、然共不迷不審有之もの□
 差出かなく候ニ付、成行披露書相認、宰領相付差上
 □吟味いたし候事。

辰十一月十六日雨晴天

一、地頭仮屋(土蔵鎖カ)□前をねり崩候を、昨暮方取払津
 曲休次郎見当、昨秋取払兩人を申出、直ニ役々立会
 見分有之候処、□格護分ニノ余□新留村・
 前田村□ニ疵付、封印□之通達有
 之□□

(辰十一月十)
 □□七日晴天

□□儀を□□兩人川内□□新留村・
 前田村・野町・社家相付、地頭所□□早□を召
 寄、盗一件□承□候得共、不審之廉不相見得、
 □未糺方本□候得共、拙者事ハ串良に差越呉候
 様承、セツ時分を罷帰候事。
 一、(積カ)□舟上乘衆間ニ不合節を、所横目、組頭
 之間より上乗り相勤候様、尤老人名前申出置候様、串
 良詰御代(官伊)□地知八郎左衛門殿を被仰付、右訴詔
 □し候□差越答ニ而罷帰居候処、今日も御代官衆
 □留□之段、新留村名主平兵衛を申出□上之事。

辰十一月十八日曇晴天

(一)□、明六ツ時分出立、新留村庄屋児玉□十郎召列、唐
 仁町詰御代官伊地知八良左衛門殿に差越、役々□
 □候。内々を以申□□郷土ニ而相済被
 下□□候得共、不相済候故、□□番
 方へ申出置候事。

辰十一月十九日雨天

□□金之進殿、并牛馬役凶師善兵衛事□
 □代り役しら□(へ)□致出会□
 □意ニ而、□候処、□
 □并添状被相認、牛馬役しらへ書相調被差出候ニ
 付、致印形候事。

辰十一月廿日曇晴天

一、□□勤候事。

辰□月廿一日□

□、□□後田村論地□候。尤八左衛
 門事も□□朝罷出候段承候。尤検者志和屋
 □□衛門□事候。去十六□中戻り有之、いま
 た□□之候。今日も御□□事。

辰十一月廿二□

(一)□、八左衛門事も御用有之、今朝野崎村に差越候。尤
 四ツ時分□村庄屋矢神勇右衛門罷出候事。
(一)□、拙者□旅宿 諸右衛門所を暮時分出立、麓に罷帰
 候。尤掛巻刻日高六太郎所に立寄候。日高勘左衛
 門(并カ)□前田村役所家内衆被参居候事。

辰十一月廿三日曇雨天

(一)□、御地頭仮屋□致出会候様通達有之、ハツ時□差越
 候処、新留村当年上見ニ付、相對部下之願申出候。
 門口田方五□決候。尤野崎村□方四部下
 □□歩組頭其外高持人数□□罷出吉川
 □□。
(一)□、今朝足輕三ヶ□年ニ受抱新平に□

□届候向ニ而、横□□
 出、近辺を□□年□人之□□
 之手当いたし□□番大田次右衛門□□
 氏、拙者、組頭柏原氏、山下氏□□今晚□□
 地頭□□引取候。且横目□□候事。

辰十一月廿四□

一、九ツ時分壱刻吉井家に差越候、□者御用無之候
 事。

辰十一月廿六日晴天

一、五ツ時分過、後田村 論地旅宿 諸右衛門所に差越
 候。尤八左衛門事八(ツ)時分を罷出候ニ付、受取合
 いたし候処、□々入米有之候。今日御届書不相調候。

且庄屋矢神勇右衛門、名主四郎、前田村名主太郎、
宮下村庄屋吉田藤兵衛、名主権右衛門、富山村名主
市郎罷出候事。

辰十一月廿六日雨晴天

- 一、米割帳召出置候処、算違有之、郡方^(取方)と相下り候
付、前田村名主諸右衛門招呼、^(取方)直方為致候事。
一、名主市郎相動候。尤今晚^(取方)伊^(取方)衛門所と招^(取方)ニ付、
差越候。八右衛門事ハ旅宿ニ而罷居候事。

辰十一月廿七日晴天

- 一、^(取方)頼置、拙者事ハ^(取方)時分麓に罷帰候
事。
一、寺社方^(取方)成喜次殿^(取方)野町に被參居、今日
拙者所に^(取方)九ツ時分^(取方)柏原伴之進、書役
^(字)^(取方)都宮^(取方)尤七ツ時分出立ニ而、始良之様被
差越候事。

辰十一月廿八日曇晴天

- 一、大田次右衛門殿^(取方)模合座有之、^(取方)時分と差
越、夜半時分罷帰候、^(尤模合カ)四部三取^(取方)候。残り
四部一山下彦一殿取入有之候。且宿亭主^(取方)川松
軒、日高曾兵衛^(取方)候事。

辰十一月廿九日雨天

- 一、大野^(目)右衛門^(目)年氣抱之新平御用有之候処、廿六
^(目)夜相捕、糺方一件ニ^(目)地頭飯屋へ致出候様
承、八^(ツ時分)^(取方)致出候。締方横目坂元次良右衛門
殿、月番大田次右衛門殿、日高氏、河俣氏、拙者、
与頭山下氏、柏原氏、横目津曲氏、日高新左衛門
殿、地頭横目切通氏ニ而、七ツ時分過引取之事。

辰十一月晦日曇雨天

- 一、四ツ時分と御地頭飯屋へ 出会、新平糺方有之候
処、吉川孫太郎所に 御尋者庄五郎隠れ 居候不審有
之、改方いたし候得共、不尋当、夫と諸所氣寄之所
走込改本いたし候得共、不尋出候。尤出役締方横目

衆、日高氏、河俣氏、拙者、古郷士年寄市来平右衛
門殿、組頭山下彦一殿、柏原氏、津曲氏、横目日高
新左衛門殿、津曲氏、安庭氏、地頭横目兩人、口事
方^(二而)^(取方)氏、児玉氏、伊東氏、柏原氏^(二而)^(取方)、月番大
田次右衛門^(取方) ^(取方)詰居候事。

辰閏十一月^(朔日)曇雨天

- 一、四ツ時分野町詰締^(方横)^(取方)目衆に見舞^(取方) ^(取方)出
^(取方)新平并^(取方)村之龜之丞^(取方)方いた^(取方)審
^(取方)有之候ニ付、明日鹿府^(取方)^(取方)申談候。
^(締方横)^(取方)目坂元次良右衛門、月番大田次右衛門殿、日
高氏、津^(取方)氏、拙者、与頭津曲氏、山下^(取方)横目
日高新左衛門殿、^(取方)津曲氏、地頭 横目切通 氏
^(取方)口事方児玉次良兵衛^(取方)、今晚と披露書下い
たし、夜明前惣引取之事。
一、月番大田氏事と日高氏に相頼置、七ツ時分より波
見村滞宿郡奉行加藤権兵衛殿に被差越候事。

辰閏十一月二日晴天

- 一、早天と御地頭飯屋へ致出候。披露書認方夜半時
分相済候。預り^(取方)番日高氏、拙者、与頭山下氏、
柏原氏、横目津曲氏ニ而候事。
一、大田氏 事波見村と 帰宅有之、七ツ時分と 出会之
事。

辰十一月三日雨晴天

- 一、早天と御地頭飯屋へ致出勤候。九ツ時分披露書致
成就、新平并龜之丞に郷士宰領相付、鹿府為致出立
候。尤月番大田氏、日高氏、河俣氏、拙者、与頭山
下氏、横目三人、地頭横目山下氏、切通氏ニ而候
事。
一、罷糸聊示糺方として、九ツ過時分と新留村尾之下
に横目津曲仲右衛門殿同道ニ而差入候。通掛^(取方)
締方横目坂元次郎^(取方)に見舞候処、日高八良太
殿、山下彦一殿、安庭権左衛門殿被參居候事。
一、新留村東之^(門)^(取方)太郎罷糸致聊示候段、夜半時分相
誤候。尤出役拙^(者)^(取方)并横目津曲氏、野廻野元八次郎、

児嶋平六、日高曾之進、柿元万右衛門、郡見廻矢神善左衛門ニ而候。且新留村庄屋児玉直十郎并在役共罷出候事。

(壬十一)
辰 月四日曇雨天

一、昨夜^ノ尾之下茂助所^ニ詰居ニ而、早天^ノ披露書相認、日高曾之進、柿元万右衛門、串良詰御鳥見衆^ニ四ツ時分引取候。□□善左衛門事^ニ早天^ノ御仕登米取納有^{（之カ）}□、差越段承之事。

辰壬十一月五日晴天

一、早天日高曾之進罷出、御鳥見衆近々被差越、右之甚太良再糺有之旨申出候ニ付、横目方^ニ申出置候様、申達候事。

一、四ツ時分論地^ニ差越候処、八左衛門参居候、今日受取合いたし候得共、先日^ノ之天氣合ニ而、入米相少候。庄屋矢神勇右衛門、宮下村庄屋吉田藤兵衛、名主平兵衛、富山村名主市良、前田村名主鉄十罷出候事。

一、新留村足米□□綱之節、御当地同様高奉行所^{（ママ）}に置付上納之願書相認、月番方^ノ被遣候ニ付、致印形候事。

一、米□帳取直し方相済候ニ付、又々郡方^ニ差上候事。

辰壬十一月六日晴天

一、御検者志和屋八良右衛門殿昨日暮時分宮下村役所迄被^{（而）}□□候由ニ□、旅宿四良右衛門所^ニ早天御越有之候事。

一、昨^{（日）}受取合之□□郡^{（御届）}に□、尤八左衛門事四ツ時分^ノ月番日高氏^ニ差越候事。

一、御仕登米并使見分と^{（候）}九ツ時分^{（目カ）}御検者同道ニ而前田村役所^ニ差越居□^{（高）}処、無間も掛り横□津曲仲右衛門殿・日□新左衛門殿、郡見廻八左衛門同道ニ而被参候ニ付、見分相始居候処、八ツ時分拙者并横目衆致出会候様、月番仮屋詰日高氏^ノ被申越候得共、横目衆事ハ罷□段承候ニ付、拙者^ノ差越候事。

一、御趣法講来正月迄成就之旨候ニ付、又々相□候様、萩雜□方掛御勘定小頭□御廻^{（御）}ニ而□違有之、訴詔難申達、無是非本々通觸数拾六書出筋相決候。尤与頭永井金之進代り役并竹木見廻遠矢直八代りしらへ方いたし候。月番日高氏、大田氏、河俣氏、市来氏、拙者、地頭横目切通平太ニ而候。夜入候ニ付、御地頭仮屋^{（村）}に直ニ前田□^ニ差越候処、八左衛門事ハ自宅^ニ罷帰、御検者衆事^ノ旅宿之様被罷帰候段、庄屋^ノ申出候ニ付、直ニ火とばし沓人召列論地之様差越候。且沓刻御検者衆^ニ差越候事。

辰壬十一月七日曇晴天

一、御検者衆事ハ四ツ過出立ニ而、内之浦詰郡奉行加藤権兵衛□被差越候。麓^ノ八左衛門同道之旨候事。

一、七ツ時分拙者事麓之様罷帰候。尤庄屋矢神勇右衛門并名主□□四郎罷出居候ニ付、早々相返候事。

辰壬十一月八日曇天

一、今晚^ニ山之内休之進殿所□請賄有之、差越候。内之浦七郎次殿家内并日高六太良殿家内被参候事。

辰壬十一月九日曇天

一、今日迄^ニ□□在勤、自宅へ罷居候事。

辰壬十一月十日晴天

一、九ツ時分後田村論地旅宿^ニ差越候処、御検者志和屋八良左衛門殿事昨日内之浦^ノ御帰之由承候。尤八左衛門事^ノハツ過罷出、荷物^ノ入付置七ツ時分又々麓之様罷帰候事。

一、庄屋矢神勇右衛門事ハ沓刻罷出候。尤名主諸右衛門相動候事。

辰壬十一月十一日曇天

一、御検者衆同道ニ而九ツ時^{（分）}□□前田村天神村之様致転宿候。御検者衆勘助所、拙者^ノ与七所ニ而候事。

一、名主鉄十相動候。尤拙者事ハ夜入候而麓^ニ罷帰候事。

一、新留村東之門甚太郎事、親類共^ニ格護方申付置候

処、一昨九日^ハ取送し候段、内々を以名主諸右衛門
^ハ申出候ニ付、尋方に差越候。親類共不列帰候ハ
屹と申出候様、申達置候。尤外預役々にも内々申出
置候様、是又申達候事。

(十一)
辰壬^方□□月十二日曇天

一、五ツ過時分前田村に差越候処、四ツ過時分庄屋図
師直八罷出、七ツ時分追罷居候。尤名主^(長カ)□右衛門相
勤候事。

(一)
□、串良池之原詰御提飼^方御役々衆、内之浦に御廻動
之段、野廻り方^ハ申出候得共、拙者^方人検者付ニ而
難迦候故、御場預り横目方にも申越、野廻り方にも
申達置候事。

辰壬十一月十三日晴天

一、串良池之原詰御提飼^(方)御役々衆に見舞として野廻
り差越候得共、拙者事ハ当分検者に^方人相付居、与
頭之儀々当分病氣、横目事ハ御仕登米取納に致出
動、見舞不相調候ニ付、宜申上候様、野廻日高曾之
進・児嶋平六に申付候事。

一、庄屋図師直八九ツ時分^ハ御検者衆旅宿に参候。尤
名主長右衛門相勤候。且拙者事ハ夜入候而麓に罷帰
候事。

辰壬十一月十四日晴天

一、九ツ時分新留村名主諸右衛門罷出、東之門甚太郎
昨夜列帰候段、届申出候事。

一、九ツ半時分前田村に差越候処、柏原詰取締横目田
畑真助殿^(御)ハ廻文写式通相達候事。

一、高須御蔵ニ而取納俵綱一件ニ付、中村市左衛門并
右之宿主富山村牧之考右衛門無調法之儀有之、十一
日前田村庄屋差越候得共、不相済候ニ付、一昨夜差
越、乍漸相済^(方)所法様取締可仕段、締^方横目衆に申
上置候様、九ツ時分過山之内与右衛門前田村に罷出
申出候ニ付、吟味之上、取締申付答候事。

一、拙者事々今晚麓に罷^(帰)□候。尤八左衛門事ハ昨夜波
見^(二)ハ麓迄罷帰、今日々前田村御仕登米取納^(三)□付、柏

(承カ)
原に差越候段^(承カ)□候事。

辰壬十一月十五日晴天

一、四ツ時分前田村に差越候処、九ツ時分八左衛門并
庄屋図師直八罷出候。追々諸村在役共罷出候ニ付、
受取合いたし候処、未蔵付本無之もの共段々有之候
故、早々為致上納、来ル廿日間究之節、料米通受取
致持参候様、尤鹿府証文取、垂水証文取之儀、来ル
廿三日限為致出立、其届申出候様申渡候。且種子飯
料致借用居候村々□納相済候上、部下り方掛役々に
相付致返済候様、是又申渡置候。前田村庄屋并名主
鉄十・後田村名主善四郎・宮下村名^(主)□善右衛門・富
山村名主市郎罷出候。検者衆・拙者・八左衛門出席
之事。

一、郷土方餘高入米無之故、掛与頭方へ催促有之候
様、申越候。来ル廿日間究并鹿府・垂水出立日限本
之儀も分ケ而申越候事。

一、中村市左衛門義、富山村□地門小右衛門取締之
儀、取計可給旨、月番日高氏并郡見廻当番山^(乙)□内与
右衛門方に拙者并八左衛門連名ニ而申越候。尤庄屋
吉田藤兵衛罷出候ニ付、彼方へ遣候事。

一、拙者事、今晚五ツ時分麓之様罷帰候事。

辰壬十一月十六日曇天

一、御鳥見上野八太郎殿外ニ御^方人御用部屋御書役
□□人野町立宿仁平次所^方御□□之段、九ツ時分綱
差見習長五郎罷出申出候ニ付、直ニ差越候処、壱ツ
ニ而稻村池魚取として横目衆并野廻衆被成御同道候
段、仁平次^ハ申出候故、直ニ拙者事ハ前田村御検者
衆に差越候処、八左衛門・直八罷出候ニ付、昨日受
取合之届、郡方并柏原詰御代官衆、松山詰請持郡奉
行衆に申上候事。

一、野町受取余高之儀、郷土方同様年行司方に申越候
事。

一、暮六ツ時分上之藺詰御鳥見上野八太郎殿^ハ御用談
之儀有之段、被仰越候ニ付、差越候処、新留村東之
門甚太郎一件所取締本有之候ハ々可被相下と之趣被

仰候故、即刻横目津曲仲右衛門殿、野廻柿元万右衛門・野元八次郎・児嶋平六・日高曾之進申談、下ケ方之願申上候処、其通ニ而右得心之事候ハ、所取締ニ而可然□□候。左候而今晚九ツ時分釐に罷帰候事。

辰壬十一月十七日晴天

- 一、四ツ時分前田村御検^(者衆)□□に差越候処、八左衛門并直八、名主鉄十參居候。尤九ツ時分御検者衆拙者同ニ而案内召列、宮下村に致転宿候。且御検者衆小右道衛門、拙者次右衛門所ニ而候。左候而八左衛門事ハ針療治おいたし候由ニ而暮時分宮下村に□着候事。
- 一、庄屋吉田藤兵衛、名主甚右衛門罷出候事。

辰壬十一月十八日晴曇天

- 一、四ツ時分御検者衆、八左衛門、拙者旅宿に被參候ニ付、□ツ時分御検者衆旅宿に見舞、□ツ時分罷帰居候処、七ツ時分小右衛門□□罷出候ニ付、又々御検者衆御旅宿に差越、今晚五ツ時分次右衛門所に罷帰候事。

辰壬十一月十^(九日)□□晴天

- 一、五ツ過時分御検者衆御旅宿に差越候処、八左衛門參居候。尤柏原詰御代官衆并取締横目衆に御廻文武通相達候。且名主小右衛門相動□□^(候事)。

辰壬十一月廿日曇雨天

- 一、九ツ時分に受取合間究いたし候処、少々入米有之候。御検者衆并拙者、郡見廻ニ而候。尤前田村庄屋并名主諸右衛門、後田村庄屋并名主四郎、宮下村庄屋并名主甚右衛門、富山村名主覚兵衛罷出候。尤今晚□ツ時分拙者旅宿に罷帰候事。

辰壬十一月廿一日曇天

- 一、^(高力)□掛式^(良力)勿御貸上^(納訴力)□内上□□詔書相認、月番同役日高氏に被^(高力)□□致印形候。尤近々出府便之節、聊止滞納之□の□上调と差越候様可取計旨、行司并竹

木^(見廻)□□方へ申越候事。

- 一、御鳥預頭取に御廻文相達候由ニ而、掛組頭に被差出候ニ付、社家、野^(町)□、浦、諸士に來□□□□頭方^(候事)に有無之届申出候様申渡、廻文相廻□□。

- 一、來ル廿三^(日)□限西四カ在鹿府証文取と爲致出立届申出候様、申達置候処、來ル朔日限延之願申出候ニ付、吟味之上、拵米仕落^(小力)粗稻^(上)積明俵々致見分、銘々面付を以出立候様申達候。其□ニ而何分ニも吟味いたし申渡答候事。

- 一、御検者衆并拙者、八左衛門同道ニ而、^(九カ)□ツ時分宮下村^(出立カ)□□ニ而、論地之諸右衛門所并後田村役所に壹刻ツ々立寄、永野に致転宿候、御検者衆御旅宿寺之下之市所に七ツ半時^(分)□着いたし候。拙者旅宿五良助所ニ而候。尤名主四郎相動候事。

- 一、庄屋在役召寄、今晚取納催促稠敷申渡候。尤出役御検者衆、拙者、八左衛門ニ而候事。

辰壬十一月廿二日曇天

- 一、五ツ過時分御検者衆同道ニ而片野に差越候。御検者衆旅宿四郎所ニ而候。□者旅宿仁之丞所ニ而候。尤名主太良相動候事。

- 一、柵方御検者伊地知十左衛門殿、片野に詰居ニ而、八良右衛門殿同道ニ而九ツ時分壹刻見舞候処、又々八郎右衛門殿旅宿に七ツ過右十左衛門殿見舞有之候事。

- 一、八左衛門事と永谷鹿倉犬山と、早天に差越候得共、得獵無之、七ツ時分片野に^(参カ)□^(善所カ)着候。旅宿□□ニ而候。尤矢神助左衛門致同道候。左候而^(登カ)鹿倉犬山之筈ニ而、又々今晚に致□山候事。

- 一、拵米并粗小積俵拵小取しらへ前田村に帳面差出候事。

辰壬十一月^(廿三日曇カ)□□□雪天

- 一、御検者衆并拙者事ハ留主いたし居候処、八左衛門其外七ツ時分□帰候。得獵無之候事。

- 一、後田村に拵米粗小積、縄俵取しらへ^(帳面カ)□□差出候。尤來ル廿八日限鹿府^(証文)□□取^(証文)□□申付候事。

大隅農村社会経済史料 (IX)

辰壬十一月[]曇天

一、御検者衆、拙者、八左[]同[]^(道)ニ而[]ツ半時分
片野出立いたし候付[]旅宿皆々罷[]荷物不入付
[]ニ而前田村に致転宿候。尤通[]村次良
助所に[]立寄候ニ付、拙者并八左衛門[]
暮時分旅宿永田之金次良所に^(着)[]いたし候。御検者衆、
八左衛門事、夜入候而旅宿に^(着)有之候事。[]
麓に罷帰候事。

^(辰壬)

[]十一月廿五日晴天

^(一)

[]、[] 二前田村に差越、御検者衆旅宿[]
二検者衆、拙者、八左衛門ニ而候。且前田村庄屋
[] 二名主[]後田村庄[]
一、今晚麓之様拙者[]

辰壬十一月^(廿六日)[]

^(小カ)

一、拵米并^(小カ)糶^(小カ)横縄俵取[] 二差出候事。
一、四ツ時分前田[]御検者衆旅宿に差越[]検
者肥後市右衛門[]八左衛門参居[]九ツ時分[]
横間御詰御島見衆并御用部屋御書役衆野町に御廻勤
之段申出候ニ付、[]越候事。
一、御島^(見)畑山[]殿[]屋書役伊藤正兵衛殿
町仁平次所に被参居候串良野廻萩原正八、篠原権八
相付居候。左候而爰元横目津曲仲右衛門殿[]日高
曾之進、野^(廻)児嶋平六参居、[] 二見舞[]之
候。ハツ過時分又々串良之[]御出立有之候ニ付、拙
者事へ前田村旅宿に罷帰候事。

辰壬十一月廿七日曇天

一、四ツ時分御検者衆御旅宿[]越、受取合[]
[]。尤[]廿五日入米御届郡方并[]今日申
上候。且出役検者衆、拙者、八左[]前田村
庄屋并名主長右衛門、後田[]市良、宮下
村名主小右衛門、富山村[]
一、ハツ過時分、検者衆、拙者、八左衛門同道ニ而西
[]得共、[]列東取納検者肥後[]右衛門殿[]
二取納究致吟味[]可及と申談、来ル十

^(日限カ)
五日迄[]

[]書相認[]飛脚を以鹿府詰
庄屋児玉直十郎方に差出筋申談候。出役市右衛門
[]門殿、拙者、善左衛門、八左衛門ニ而
候。東三ヶ在庄屋在役[]晚五ツ過 迄相咄候
而、八郎右衛門殿并八左衛門に尾之下と相別れ、
拙者事と麓之様^(罷カ)帰候事。

一、新留村[] 二相廻候届[]差廻
候処、皆々存寄[]として新拾式束
[]津曲仲右衛門殿[]
^(野)元八次郎、^(端)児[]

辰壬十一月廿八日雨^(天)[]

[] 二内用ニ付日高八郎太[] 二前
田村検者八郎右衛門殿[] 二申候。八郎
右衛門殿、拙者、八左衛門ニ而候。前田村[]
[]諸右衛門、宮下村名主基右衛門、富元村之
儀ハ[]出候事。

[]式歩金老切[]書物[]取[]
二拾俵程外ニ諸書付[] 二村有村屋敷
之熊次良所持[] 二に致紛失候段[]

^(破損)

一、暮時分拙者事と[]
一、夜半時分大地震[]

辰壬十一月[]

一、四ツ過時[] 二取合い
いたし候。郷士方余高[]者、八左衛門ニ
而候。尤前田村名主太郎、富山村名主市郎罷出候。
且拙者并八左衛門事、麓自宅に今晚罷帰候事。

辰壬[]月晦[]天

一、九ツ時分前田村詰八郎右衛門殿旅宿に差越、受取
合いたし候処、郷士余高受取并野町[]
[]無間違差出[] 二御検者衆并拙者ニ
[]前田村庄屋[]名主善四郎、宮下村名
主小[]衛門罷出候[]
一、八左衛門事とセツ過時分罷出候。尤[]

辰十二月七日晴天

一、四ツ時分市来氏に立寄、前田村に差越、受取合いたし候。明日と休みの筈候。八郎右衛門殿、拙者、八左衛門ニ而候。尤前田村庄屋并後田村名主市郎、富山村名主覚兵衛罷出候事。

一、今晚五ツ過時分麓に罷帰候。帰掛市来氏に立寄候事。

辰十二月八日曇雨天

一、御検者衆拙者宅に御招候処、七ツ時分と被参候。

肥後市右衛門殿、志和屋八郎右衛門殿、市来運右衛門殿、矢神善左衛門、郡山八左衛門、前田村庄屋図(師直八ニ而候、今カ)晚五ツ時分引取之事。

一、所中台弓持合候もの相糺、有無之届兩日中申出候様、串良提(銅カ)詰御鳥見畑(山吉右衛門)殿、致承知候段、野廻柿元万右衛門□今晚申出候。□御鳥見□御用部屋書役伊藤□兵衛殿平後蔭に□□と被差越、昨日と今日迄兩日犬山仕候得共、得糺無之、今日串良に御帰之段、申出候事。

辰十二月(九日)曇天

一、九(ツ)時(分)前田村(江)に差越候処、受取無之、受取合(不)致候。尤八郎右衛門殿、拙者、八左衛門ニ而候。前田村庄屋并(名主カ)長右衛門、後田村名主諸右衛門罷出候事。

一、市来氏と御検者招有之、暮時分と道差越候。肥後市右衛門殿、志和屋八郎右衛門殿、拙者、善左衛門、八左衛門、前田村庄屋図師直八ニ而候。尤今晚五ツ時分銘と引取ニ而、拙者事ハ自宅へ罷帰候事。

辰十二月十日晴天

一、先達而野崎村田方に病齋相見得居候儀ニ付、所中(居カ)に為手追候ものと無之哉、又と台弓(見)持候ものと無之哉相糺、有無可申出旨、串良詰御鳥畑山吉右衛門殿と被仰候段、野廻方と申出候ニ付、郷中小頭并村々庄屋(在)役、年行司、弁指招呼、右之趣申渡、(細カ)と相糺、有無之届明十一日拙者方へ申出候様、御

地頭(り)か屋ニ而申渡候。出役拙者并当番組頭山下彦一殿、横目津曲仲右衛門殿、野廻野元八次郎、児嶋平六、柿元万右衛門、日高曾之(進)、郡見廻矢神善左衛門ニ而候事。

一、富山新十(郎)繼目御免(申)渡候。拙者并当番組頭山下氏ニ而候。左候而右証文□山之内六郎□組頭被仰付候。一件書付山下氏に相渡、且(月カ)番日高八郎太殿類ニ付、右之通取計候事。

一、暮時分自宅へ罷(帰候)。今日と取納方頼置候事。

辰十二月十一日曇天

一、九ツ時分前田村に差越候処、八郎右衛門殿旅宿に肥後市右衛門殿・市来運右衛門殿・八左衛門参居候。尤前田村庄屋并富山村名主助正左衛門罷出候。且八ツ過市右衛門事と東に被罷帰候。七(ツ)時分市来氏事も罷帰候ニ付、拙者并八左衛門、前田村庄屋、御検者衆同道ニ而市来氏旅宿に差越候。左候而今晚入候而拙者事ハ外方と早く麓に帰候事。

辰十二月十二日晴天

一、山之家木綿祝ニ付、七ツ時分差越、暮時分罷帰候。尤今日と取納方相頼置候事。

一、一昨十日申渡置候御場一件糺方之儀、□□今日迄段と届承候得共、西方上(組カ)并永山与、野町未届無之候事。

辰十二月十三日晴天

一、四ツ時分前田村に差越、八郎右衛門殿同道ニ而九ツ時分新留村詰御検者御旅宿に差寄、取納日限致吟味候処、蔵留ニ而十五日限皆済相調丈ニ而無之、又と来ル廿五日迄月延之御願申上候。肥後市右衛門殿、志和屋八郎右衛門殿并市来氏、拙者、矢神氏、郡山氏ニ而候。尤前田村庄屋并名主太郎、後田村名主善四郎、宮下村庄屋并名主平蔵、富山村名主覚兵衛、其外東三ヶ在名主共罷出候。且西取納掛之儀と庄屋・在役共召列暮時分前田村に罷帰、取納催促稱敷申渡、夜入候而拙者事ハ麓之様罷帰候。八左衛門

事も罷帰段承候事。

辰十二月十四日雨天

一、九ツ時分前田村御検者衆御旅宿に差越候処、十八日限米皆済并免本艮上納相済□申段請書、宮下村・前田村に差出候。富山村・後田村之儀も今日不差出候ニ付、明日無相違差出候様申付候。□^(尤カ)受取合併証文究いたし候。且八郎右衛門殿、拙者、八左衛門ニ而候。前田村庄屋図師直八、名主諸右衛門、^(官)□下村名主善右衛門、富山村名主市郎^(罷)□出候。後田村之儀も耕作耆人^(候ニ)罷出□□付、糺方いたし候様八左衛門に申付候事。

一、竊に疵付候もの又も台弓本持合候もの無之段、所中承届候^(御)付、成行□鳥見衆に申出候様、野廻に申付候。尤□提飼方明十五日御引払之筈ニ而、為暇乞野廻り杯串良に差越候事。

一、拙者事ハ夜入候而釐之様罷帰候事。

辰十二月十五日曇天

一、四ツ時分前田村に差越候処、八左衛門事も参候。左候而拙者事も明十六日日高宗次郎所婚禮ニ付、今日より明日迄相頼段、八郎右衛門殿并八左衛門に申置、宗次郎所に差越、今晚五ツ時分自宅へ罷帰候事。

辰十二月十六日晴天

一、九ツ時分日高宗次郎所婚禮と差越、今晚八ツ半時分自宅へ罷帰候事。

辰十二月十七日曇雨天

一、九ツ過時分宗次郎所に立寄、前田村に差越候処ニ、宮下村・富山村に免本銀上納之届申出候。尤御検者、拙者、八左衛門ニ而候。尤前田村庄屋并後田村名主四郎罷出候事。

辰十二月十八日雨天

一、今日と所ニ而模合座いたし候ニ付、取納方之儀も

御検者衆并八左衛門に頼置候事。

辰十二月十九日雨天

一、今日も前田村に致出勤管候処、昨日模合一件ニ付、色々取引之儀有之、出勤不相調候事。

辰十二月廿日曇天

一、九ツ時分前田村御検者衆旅宿に差越候而、証文究いたし候。八郎右衛門殿、拙者、八左衛門ニ而候。尤前田村庄屋図師直八、名主六兵衛、後田村書役、宮下村名主甚右衛門、富山村名主市郎罷出候。且拙者事も暮時分釐に罷帰候事。

辰十二月廿一日雨天

一、九ツ過時分前田村に差越候処、証文相少、今日も不致究方候。八郎右衛門殿、拙者、八左衛門ニ而候。尤前田村庄屋図師直八、後田村庄屋矢神勇右衛門罷出候。且拙者事ハ暮時分釐に罷帰候事。

辰十二月廿二日曇天

一、九ツ過時分前田村に差越、証文究いたし候。尤米皆済之届下書相調置候。明日清算いたし届申上筋申談候。八郎右衛門殿、拙者、八左衛門ニ而候。且前田村庄屋并後田村名主太郎、宮下村庄屋吉田藤兵衛、名主平蔵^(入)罷出候。拙者事ハ今晚夜□候而釐に罷帰候事。

辰十二月廿三日曇晴天

一、九ツ時分前田村御検者旅宿に差越候処、八左衛門事も致帰^(宅)候由ニ而、七ツ過時分参候。尤前田村名主六兵衛、後田村名主四郎、富山村名主覚兵衛罷出候。且拙者事暮時分釐に罷帰候事。

辰十二月廿四日雨晴天

一、九ツ過時分前田村御検者衆旅宿に差越候処、八左衛門参居候。尤日^{(高)(新カ)}□□左衛門参会候。今日も残別ニ而候。左候而米皆済御届申上候。宮下村・富山村之

儀々覚書差出候。前田村名主六兵衛、後田村名主四郎、宮下村名主甚右衛門、富山村名主覚兵衛罷出候事。

一、今晚夜入候而 日高新左衛門同道ニ而麓^ノ罷帰候事。

一、月番郷士年寄 大田次右衛門殿所^ノ 出會之通 達有之、差寄候処、高須・始良聞方下代衆^ノ足米入付証文差出候得共、増良五百文ツ、不差出候而ハ請取差出儀不相成段承候趣、新留村庄屋兒玉直十郎^ノ申越居、致吟味候処、郡見廻郡山八左衛門夜通ニ高須^ノ差遣、慥ニ承届書物相認、新留村庄屋事ニ直ニ高須^ノ為致出府、八左衛門事ハ罷帰、明後廿六日可致出府段申達候而可然申談、直ニ八左衛門招呼、右之趣申付候。且印紙三枚為持遣候。出役月番并河俣龍藏殿・市来運右衛門殿・日高八郎太殿・拙者・組頭山之内六郎太殿・山下彦一殿ニ而候。夜半時分罷帰候事。

辰十二月廿五日晴天

一、四ツ時分前田村御檢者旅宿^ノ差越候処、東取納究檢者肥後市右衛門殿・郷士年寄市来運右衛門殿・郡見廻矢神善左衛門被^{（参カ）}居候。左候而七ツ時分^ノ東取納方へ差越候処、用水掛小牧恕右衛門参居候。夜入候而前田村旅宿^ノ罷帰候処、八左衛門并前田村庄屋高須^ノ罷帰居候。尤覚書都而相揃候事。

辰十二月廿六日曇天

一、檢者志和屋^{（八郎右）}□□□衛門并東詰檢者衆事四ツ時分出立有之候ニ付、我□共事も前田村引取候。尤郡見廻郡山八左衛門事取納為首尾致出府候事。

一、取納致皆済候届書并筆紙墨油代差出、大皆済正月廿九日限延訴詔書^{（者）}に致印形候事。

一、今朝檢^{（善カ）}□衆出立ニ付、前田村名主鉄十、宮下村名主□右衛門、富山村名主市郎罷出候ニ付、拝借種子^{（者）}取遊方いたし、明後廿八日限月番方へ届申出候様□渡□□田村之儀々右之もの共名代ニ而承候事。

〔辰十二月廿七日～卅日記載ナシ〕